

英語学英米文学専攻

人材養成および教育研究上の目的

英語学英米文学専攻においては、英語学・英米文学・英語教育学の各分野においてカリキュラムに基づき、きめ細かな個人指導を実施する。博士課程前期では、学部での習熟度を踏まえ、講義と演習を通して研究課題の総合的な把握・理解・解決のための方法を体得させ、もって社会諸方面の要請に応えることのできる専門知識のある国際人を育成することを目的とする。博士課程後期では、前期課程で培った専門的能力をより錬磨させ、体系的な研究業績の達成はもとより、国際社会に貢献し得る高度な専門職業人・研究者の育成を目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

英語学英米文学専攻の博士課程前期では、今日の世界においてきわめて重要な英米語および英米文学の研究をとおして国際舞台や地域社会で活躍できる人材を育成すべく、その研究成果を社会や研究教育の現場で活かせる人材、すなわち高度専門職業人や教育職員や研究者になることを目指す学生を広く受け入れる。博士課程後期では、博士課程前期で培ったスキルをさらに磨き、蓄積してきた研究成果をいっそうひろげ深めようという向上心・探究心を持つ者を受け入れる。社会人、留学生にももちろん門戸を開く。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

英語学英米文学専攻の博士課程前期では、各科目間の連携に留意しつつ、充実した年次別カリキュラムを組む。具体的には英語学、英米文学、英語教育学の各専門分野において多様な特殊講義および演習を開講し、それらの中から一つを専修科目として選定する学生は、演習を2年間継続して受講する。博士課程後期では英語学、英米文学に関する様々な特論および特別研究科目を開講する。学生は専修科目として選定した1つの特別研究科目を3年間継続して受講する。そうすることで各科目間の縦および横のつながりが保証される。研究成果は学位論文に結実することとする。また必要に応じて、外部から招聘する非常勤講師の講義も用意する。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

英語学英米文学専攻の博士課程前期では、学生各々が所定の課程を経て自らの研究課題を発見し、その問題の解決のための方法とそれを論文の形式で表現する方法とを身に





つける。それらをもとに修士論文に仕上げたのち、厳格な審査によって同論文が合格と判定された場合に課程修了とし、修士号が授与される。

博士課程後期では、所定の単位の取得と厳格な審査による博士論文の合格判定により、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に博士（文学）の学位を授与する。

- ・ 専門分野において、先行研究を踏まえたうえで論理的かつ実証的に考察・分析を行い、自らの研究課題をより深く追求し、研究者として自立した活動ができること。
- ・ 英語を用い、独自の見解を論文で明示する能力を備えていること。
- ・ 専門分野において後進を指導し育成する資質や指導力を身につけていること。

